

1. 自由民権運動の拠点になった 松本亭、明治のこの神田錦町1丁目には「松本亭」という宿泊・集会場がありました。

多くの政治家や秘書が集まり、日本の政治、思想が語られました。自由民権運動の「愛国社」の同志たちも集まり、度々会合が開かれ、その後も思想家の中江兆民、幸徳秋水、のちには首相になつた吉田茂や大野伴睦といった政治家も出入りしたそうです(ですから昭和10年頃迄の事ですよ)。

電機学校は昭和に入って錦町2丁目に移転(明治40年に小川町で開学)して、隣の本郷通り側が錦町1丁目です、現7号館の所が区役所でしたからその横で1丁目にあったのなら6号館の区画辺りかと思えます。

その表通り側の区画には昭和初期から引き続いた同級生の大きな銭湯や蕎麦屋が建てられたのでスペース的に? ですし、もう一つ小川町寄りの区画の表通りは焼け残ったビルと焼け跡に建った平屋の神田キリスト教診療所(私達の頃に所長だった手塚博士が電大校医でした)でした。

この辺りならスペース的条件は合いますが区役所横の条件からは外れます。同じく学校本館前の区画も区役所横の条件から外れますよね。区役所横の学校本館の場所は錦町2丁目なので当然ちがいますね。

2. 「中西屋書店は駿河台下の交差点の所にありましたが、ご存知ですか」に関して

私の知っている駿河台下の交差点の角は、

- ①靖国通り北側の明大側の坂下角は黒くて大層古い明治時からの蕎麦屋(現駿台ビル中根)でした。
- ②その明大通り反対の古い消防所側角は、タビ屋(現ヴィクトリアワードローブ)、其の隣には私の住んでいた店の兄弟店・ムサシ堂カメラ店(現アルペン)がありました。
- ③靖国通り南側角は三省堂、そのすずらん通り入り口の反対側は都民銀行(現書泉ブックマート)で小さな建物でしたが、外壁は旧明大や旧中大本校と同じ黄土色の石造りで立派でした。
- ④其の前の通りを小川町側に渡った向かいの角は九段側に尖った「三角地」で先端が、タキン果物店(現ヴィクトリアゴルフ神田店)で、靖国通りの南側に面した隣が、洋書で幼児向け絵本のキンダー・ブックを扱っていた、キンダー・ブック館と呼んでいたビルでした。(現都民銀行神田店)

ネット検索したところ「中西屋書店」とは中西屋が丸善書店と合併した後に洋書の古本部となり、丸善を名乗るのが不都合で「中西屋書店」(神田小川町3丁目3番で現在も同じでした)となったそうです。「清水かつら関係資料」のネットで見てください。見つけました!

中西屋関係のブログの中に「武蔵野ペン」 第二号 武蔵野文学会 1958/12/31 が有りその文中に、

「三省堂の前をすぎて駿河台下の十字路で錦町に通ずる旧電車通りを小川町 3 丁目の同じ側に横切ると、今は都民銀行になっている、もとの丸善支店の建物がある。丸善支店になる前は、そこは、中西屋洋書店であった。」 の記述を見つけました！

私達が キンダー・ブック館と呼んでいたビルがまさしくそれで、現在の都民銀行神田店の場所です。上記④の幼児向けの洋書絵本を扱ったキンダー・ブック(現都民銀行神田店の場所)が「中西屋書店」でした。③の都民銀行(現書泉ブックマート)が、④の「三角地」に移り現都民銀行神田店になりました。

③と④の間には錦町方向に都電が走っていたと思います。